

【玖珠町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末等を活用して目指す学びの姿

学習指導要領や中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」で示されている通り、全ての児童生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現するためには、ハードウェア・ソフトウェアの計画的な更新と ICT 環境の整備が不可欠です。玖珠町では、これまでの教育実践を基盤とした特色ある学校教育を引き続き推進するとともに、1人1台端末を効果的に活用します。これにより、個々の理解度や学習進捗に合わせた学習活動を展開し、児童生徒一人ひとりの実態に応じた学びの実現を目指します。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA スクール構想の開始を受け、玖珠町においても1人1台端末の導入とネットワーク環境の整備を行いました。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大期には、タブレット端末の持ち帰り学習やオンライン授業を実施し、「学びを止めない」環境を確保しました。加えて、デジタル教科書や学習支援ソフトを導入するとともに、シンキングツールアプリなどを効果的に活用し、ICTを活用した教育環境の整備を進めてきました。また、家庭に通信環境がない児童生徒には SIM カードを貸与するなど、学習環境の公平性確保にも努めました。今後は、GIGA スクール構想第2期を見据え、策定した整備・更新計画に基づき、1人1台端末の適切な維持・管理・更新を行っていきます。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和2年度のGIGAスクール構想開始から数年が経過し、学校での日常的な端末活用はもちろんのこと、家庭学習における活用も着実に進んでいます。教職員のICT活用を支援するため、ICT支援員を配置し、学校現場でのサポート体制を整えています。今後も、1人1台端末を活用した持ち帰り学習やオンライン学習などを通じて多様な学習機会を提供し、児童生徒一人ひとりに適した学びの保障に努めます。また、不登校児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒、帰国・外国人児童生徒などに対しては、関係機関と連携し、個々の状況に応じた適切な支援や相談体制の充実を図り、きめ細やかに対応できる体制を構築します。